

内部情報漏洩対策システム「CWAT」の次期新製品 「CWAT3i(シーワット・スリーアイ)」が2006年3月13日製品出荷決定

株式会社インテリジェント ウェーブ

〒104-0033

東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー

URL: <http://www.iwi.co.jp/>

2006年2月10日 東京

2006年2月10日、株式会社インテリジェント ウェーブ(本社:東京都中央区、代表取締役:山本 祥之)は、同社の内部情報漏洩対策システム『CWAT(シーワット)』の次期新製品『CWAT3i(シーワット・スリーアイ)』を2006年3月13日に出荷開始することを決定しました。

新製品『CWAT3i』は、2003年9月発表の『CWAT』(Version1.x)の後継製品となります。本発表は2005年10月発表の新製品(開発コードネーム“スカイビーン-Skybean-”)の正式発表となります。今回市場投入される新製品『CWAT3i』は、近年の情報セキュリティ市場の急速な拡大を見据えた、製品の大幅な性能向上のための、メジャーバージョンアップとなります。

『CWAT3i』は、監視対象クライアント導入後も、導入された PC 端末の使いやすさを確保し業務効率を高めます。また高度で開かれた仕様は、他社技術との連携性を保持しています。2003年開発当初より「リアルタイムの情報漏洩防御」を行うことを主軸としていましたが、今回の新製品ではさらに、「企業の機密情報を「守る」・「証明する」・「つきとめる」」ことをコンセプトとして、企業の情報セキュリティマネジメント、なかでも企業における内部統制、コンプライアンスに重点を置きその実現・確保をします。

「CWAT3i」の主な機能は、以下のとおりです。

- ・ 監視サーバのマルチランゲージ対応(対応言語: 英・中国繁体字・中国簡体字・韓・日)を実現する「Organization Monitor International(オーガナイゼーションモニタ・インターナショナル、通称: OMI)」
- ・ よりユーザビリティを追求した「特異挙動検知エンジン」
- ・ 個人情報の分散、漏洩、改竄を検知、防止を目的とした「個人情報自動検知機能」の提供
- ・ 普段は禁止される操作を一時的に利用承認する「上司認証フロー」の一部機能先行提供
- ・ 効率的なシステム連携を実現するSOA^{*}型オープンプラットフォーム機能「CWAT Plat Server(シーワット・プラットサーバ、通称: CPS)」の提供

新製品名称である『CWAT3i』内の数字『3』は製品のメジャーバージョンを表現しております。また、末尾英語表示『i(アイ)』は、「国際的な」を意味とする形容詞「International」の頭文字「I」を小文字で簡略表現しております。これは、今回の『CWAT3i』に新たに搭載される監視サーバのマルチランゲージ対応機能の提供を表現するとともに、英語版製品の同時出荷開始を行うといった『CWAT3i』による今後の



ワールドワイド展開を表現したものです。

今後、同新製品は、日本国内のみならず国外の同社代理店を通じてワールドワイドに広く提供してまいります。また、国内においては、情報セキュリティ監査および今後企業に求められる内部統制、コンプライアンスの潮流と施行される企業改革法(日本版SOX法^{*2})施行に伴う企業情報セキュリティシステム分野での拡販を目指します。

日本国内版の製品出荷開始時期は、2006年3月13日を予定しており、同社国内パートナーからの購入が可能です。また、英語版製品の出荷開始時期も同日となる予定です。

また、『CWAT3i』は、日本国内における標準提供価格として『Organization Monitor International (OMI)』250万円～(CWATクライアントであるOPDC Proが100クライアント以下の場合は50万円～)、OPDC Pro(暗号化機能、DRM機能付CWATクライアント) 1クライアント1.87万円～(OPDC 1クライアント0.95万円～)となります。

^{*1} SOA: サービス指向アーキテクチャ / Service Oriented Architecture

ビジネスプロセスの構成単位に合わせて構築・整理されたソフトウェア部品や機能を、ネットワーク上に公開し、これらを相互に連携させることにより、柔軟なエンタープライズ・システム、企業間ビジネスプロセス実行システムを構築しようというシステムアーキテクチャ。

^{*2} SOX法: 米国企業改革法 / Sarbanes Oxley act

企業会計や財務報告の透明性・正確性を高めることを目的に、コーポレートガバナンスの在り方と監査制度を抜本的に改革するとともに、投資家に対する企業経営者の責任と義務・罰則を定めた米国連邦法。

CWAT について

端末およびネットワークをリアルタイム監視し、情報漏洩を未然に防ぐ情報漏洩対策システム。不正操作の検知だけでなく、AI エンジンを利用し情報漏洩の予兆である不審操作の検知が可能。その他外部デバイスやモバイル端末、未登録端末等、幅広く監視することにより情報漏洩の抑止力を高め、セキュリティの向上を支援します。

< 動作環境 >

『オーガナイゼーションモニタ・インターナショナル』(監視・管理サーバ)

(1) OS: Microsoft Windows2000 Server/Server 2003

(2) 推奨スペック

CPU: Intel PentiumIV 2GHz 以上・メモリ: 512 MB 以上



(3) 稼働条件

Microsoft .NET Framework Version 1.1 (Build 4322 Ver.2032) 以上
高度暗号化パック又は IE 5.5 以降の導入、Windows インストーラ Ver.3.0 以降
Microsoft SQL Server、解像度 1280 × 1024 以上のモニタ

『オペレーションディフェンスコントローラ』(監視クライアント)

(1) OS: Microsoft Windows 98SE/NT4.0 SP6a/2000/XP/2003

(注)サーバ機能を利用している PC 端末については対象外です。

(2) 推奨スペック

上記(1)の OS の推奨スペックを満たすことを条件とします。

(3) 稼働条件

高度暗号化パック又は IE 5.5 以降の導入

< 製品ホームページ > <http://www.cwatworld.com>

インテリジェント ウェイブ会社概要

株式会社インテリジェント ウェイブは、カードビジネス事業、システムソリューション事業、セキュリティシステム事業から構成される、ネットワーク技術を基盤におくシステムインテグレータです。

特にカードビジネス事業では、自社開発パッケージによるクレジットネットワークシステム及び集配信システムの提供で大手クレジット会社の約7割のシェアを占め、金融業界で培った技術はセキュリティ技術に応用され、カード不正対策システムや内部情報漏洩対策システムに活かされています。

金融業界におけるコンサルティング業務、ソフトウェア開発およびネットワーク構築、ハードウェア販売のほか、全業種に向けた新規事業分野への積極的な展開を行っています。

本件に関するお問い合わせ先

報道機関からのお問い合わせ先

株式会社インテリジェント ウェイブ セキュリティシステム事業部 マーケティング部

E-Mail: cwat_pr@iwi.co.jp 電話: 03-6222-7151

お客様からのお問い合わせ先

株式会社インテリジェント ウェイブ セキュリティシステム事業部 営業部

E-Mail: cwatsales@iwi.co.jp 電話: 03-6222-7050

商標・著作権について

CWAT、および CWAT3i は株式会社インテリジェント ウェイブの登録商標または商標です。記載の会社名および商品名、ウェブサイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

